

事例  
49京都府  
株式会社 Atomis

多孔性配位高分子 (PCP/MOF) 技術を用いた製品・ソリューションの提供

所在地 京都府京都市  
創業年 2015 年  
従業員数 9 名常勤  
雇用

「自ら考えて行動できる即戦力人材」として年間数十件の受託案件や自社事業の研究開発を担当し、納期短縮やコスト減を実現

## 取組ポイント

1. 「自ら考えて行動できるメンバー」をいかに採用するか
2. 「自ら考えて行動すること」こそが最大のミッション
3. 内製化で試薬調達スピードを2か月から1週間に短縮



## 入社時のプロフィール

和佐野 達也 氏

役職名 : 研究員

年齢 : 33 歳

家族構成 : 妻、子

主な経歴 : 京都大にて博士号(理学)取得後、仏ポール・サバティエ大、群馬大にて博士研究員

出身地 : 福岡県 前居住地 : 群馬県

還流ルート : 1ターン

## 入社した経緯

株式会社 Atomis のアドバイザーでもある京都大学高等研究院北川進教授が発見した多孔性配位高分子 (PCP/MOF) 技術は、私にとって、学生時代からの憧れの分野でした。また、前職時には群馬県で単身赴任をしていたため、大学院時代を過ごした京都の地で、家族と暮らしながら、憧れの分野の研究開発に主体的かつフルタイムで働くことのできる仕事を紹介いただき、天職だと思いました。

## 入社してから携わった業務

素材開発依頼に対しては、お客様のニーズに合った候補化合物の選定及び設計を行うとともに、従来は外部委託していた新規材料の製造を内製化し、品質・機能評価や成形までを含めて主体的に考えて担当しています。また、自社開発のガスボンベ供給サービス「CubiTan (キュービタン)」の吸着剤の研究開発に対しては、さまざまなガス種での実験を重ねてデータを蓄積し、実用化を目指しています。

## 当社での働きがい

「MOF (の分野) で仕事をできるんだ！」という喜びを抱きながら仕事できて、毎日が楽しいです。もちろん、思う通りに結果が出なくて苦しい思いをすることもあります。考えを巡らせ、調査・実験を重ねて、それらが実を結んで成果が出たときには本当に嬉しいです。また、自分の頑張り次第で経営全体に貢献できる割合も大きいため、責任も感じますが、それ以上にやりがい・働きがいを感じます。



## STEP 1 抽出された経営課題

## ～「自ら考えて行動できるメンバー」をいかに採用するか～

当社は「多孔性配位高分子」技術に特化した京都大学発の素材系ベンチャーで、2015年に設立しました。2017年～2018年にかけては「ヒト・モノ・カネ」のすべてが不足しており、「自ら考えて行動できる人材の採用」が経営課題でした。派遣研究員やアルバイトの方にも加わっていただきましたが、「やはり、主体的に考えて行動できる、有機合成化学の研究開発に長けたフルタイムの人材を是非採用したい」と強く思いました。そんな折、京都府プロフェッショナル人材拠点様および人材紹介会社様と連携し、2019年1月に和佐野氏の採用に至りました。

## STEP 2 プロ人材に与えられたミッション

## ～「自ら考えて行動すること」こそが最大のミッション～

仕事の目標や方向性が明確になっている状況で、「次はどうしたらよいですか」、「何をしましょうか」と、その都度指示を待っている方では仕事になりません。例えば、企業様から素材開発依頼があれば、必要な論文を自ら探し、どうすれば開発・納品できるのかを自ら考えて、実験・合成も含めて取り組んでいただく必要があります。また、当社は自社開発のガスボンベ供給サービス「CubiTan (キュービタン)」を開発中で、これまでに誰もやったことのない吸着剤の研究開発に試行錯誤して取り組む必要があります。和佐野氏は、そうした働き方ができる方です。

## STEP 3 プロ人材がもたらした効果

## ～内製化で試薬調達スピードを2か月から1週間に短縮～

2018年以前は、素材合成用の試薬を調達する際には、販売されているものを購入するか、販売されていないものについては外部委託してきました。2019年以降は、和佐野氏の入社により試薬を内製化できる体制が整いました。その結果、従来は2か月間を要していた試薬の調達が1週間で可能になりました。年間数十件の素材開発依頼への対応力が向上しただけではなく、コスト削減にもつながり、経営の安定にもつながっています。



## 企業からの声 代表取締役 CEO 浅利 大介 氏

2017年～2018年にかけて、「主体的に考えて行動できる、有機合成化学の研究開発に長けたフルタイムの人材を是非採用したい」と思い至りましたが、そうした人材の採用に至るには一本道ではありませんでした。例えば、ある人材紹介会社様からは、当社の事業とあまりマッチしていない方々をご紹介いただきましたが、成長期にあって、じっくりと教育しながら採用を拡大していく状況であればそうした方針でも良かったかもしれないのですが、当時の当社にはそうした方と面談する余裕はありませんでした。そんな折に、京都府プロフェッショナル人材拠点の登録人材紹介会社の方が当社の話をじっくりと聞いてくださり、オール京都の併走形でご支援いただいたことで、当社が探し求めていた人材を採用できて、大変助かりました。今後も社会の要請に応える仕事を提供して参ります。誠にありがとうございました。